

寺で催し地域の拠点へ

福山の住職ら「結の会」



メンバーの住職が見守る中、天徳寺本堂で笑顔で話す婚活パーティーの参加者(14日)

福山市などの寺の住職たち13人が「結の会」をつくり、境内や本堂を会場にイベントを開いている。目標は地域の心のよきところとして寺の存在感を取り戻し、交流を促すこと。21日は同市鞆町の静観寺で仏教の教えや活動に触れる寺カフェを開く。(菊本孟)

寺は、かつては子どもが境内で遊び、住民と住職が気軽に対話する地域のコミュニティの中心だった。近年は法事などの際にしか人が訪れないといふ。会は僧侶の勉強会も実施。寺で一度、住民が仏事などを学ぶ会を始めた住職もいる。

14日には同市田尻町の天徳寺で男女約40人を集めた婚活パーティーを開いた。本堂での座禅後、趣味や仕事の話など参加者同士の話が弾んだ。愛媛県八幡浜市の会員井関雅恵さん(32)は「とても新鮮。僧侶の話も面白く、寺を身近に感じた」と笑顔を見せた。

天徳寺住職で、結の会の日下宗真会長(42)は「大人も子どもも立ち寄れる集会所のような存在でありたい。日本の文化や仏教の教えを絶やさず伝えていきたい」と話す。寺カフェは午後2時。500円。同会事務局 084(959)5101。

カフェや婚活 教えを身近に

超短納期を掲げ作業ロス削減

3Dデータ化で中小企業支援



新事業アワード大賞 府中商議所2社選ぶ

府中商工会議所は17日、独創的で市場性のある分野に挑む企業を表彰する「新事業アワード」を発表した。新規事業部門はモノミラ(同市元町)、新工作機械の部品を製造する「機

造する内海機械は「超短納期」を掲げ、工場内の動きを映像分析。工具を壁付けしたり、傾斜がある引き出しを設けたりして作業ロスの削減を進めた。内海和浩社長は「ミスも減り、機械の稼働率も上がった」と成果を話した。モノミラは昨年9月に創業した。受注した部品の図面の3Dデータ化や製造機械のプログラム設定などで中小企業を支援する。「機

械を導入したのに、人材不足で使いこなせていない企業も多い」と山口大介社長。メカニカル・アシスタントをつぶさに実施

するアワードは6回目。広島大産寧・地域連携センター長の柳下宏審査委員長は「単にものづくりだけではない企業があり、頼もしい地域だ」と講評した。

(山崎雄一)

デニム衣装登場 産業PR

JR福山駅前 再始動

駅構内

JR福山駅周辺で19~21日に開催されるイベント「オープントリートフクヤマ」を前に、駅構内に飾り付けた。イベントにデニムの衣装がお目見えし、地域で盛んなデニム産業をPRしようと、イベントの実行

福山、井原市の企業が手掛けた。地元で盛んなデニム産業をPRしようと、イベントの実行

福山、井原市の企業が手掛けた。

15日夜、参加企業の関係者が駅構内に飾り付けた。イベント期間中、さらにもう6点の衣装を展示する。衣装を使つたデニムの色打ち掛けで、カ

ジアルを織り交ぜた。

15日夜、参加企業の関係者が

駅構内に飾り付けた。イベント

期間中、さらにもう6点の衣装を

展示する。衣装を使つたデニ

ムの染め、織り、縫製、加工は

PRしようと、イベントの実行

福山、井原市の企業が手掛けた。

15日夜、参加企業の関係者が

駅構内に飾り付けた。イベント